



稲中生の「合言葉」 いつでも なんでも いっしょう懸命
 稲井中3つの「あ」 あいさつ あきらめない あいてのために

真野川

石巻市立稲井中学校

学校だより 第17号
 令和5年1月13日
 TEL 0225-91-2314
 FAX 0225-91-2315

明けましておめでとうございます ~3学期のスタート~

新年明けましておめでとうございます。令和5年(2023年)は卯年。元気に目標達成に向かって跳躍できる素晴らしい年になればと思います。昨年に引き続き、今年もよろしくお願いいたします。

さて、1月10日(火)に第3学期始業式を行いました。始業式では校長先生の式辞の後、各学年および生徒会代表の4人の抱負発表がありました。寒い中ではありますが、凛とした態度で代表生徒の発表を聞く様子に、新学期に向けてのやる気が伝わってきました。今号では校長先生の式辞と3学年代表の小野寺怜さんの発表をご紹介します。



校長式辞

石巻市立稲井中学校 菅原 栄治

いよいよ令和5年を迎えました。まずは、元気なあいさつから、新年そして新学期をスタートしていきたいと思えます。「新年明けましておめでとうございます。」

今年は干支で言うと、「卯年(うとし)」です。小さな体で大きく飛躍するうさぎは、「飛躍」、「向上」の象徴であることから、「困難に負けず前進し、成長がこれからも期待される」「新しいことに挑戦するのに最適な年」と言われています。また、月にうさぎが住んでいるとされていることから、「ツキを呼ぶ」「満月のように円満な人間関係をもたらす」とされています。いずれにしても上昇運気の年です。この年にあやかり、皆さん一人一人が、そして稲井中学校がさらに成長・発展してほしいと願っているところです。

さて、冬休みはどうでしたか?大きな事故もなく、今朝学校に来たみなさんの元気な顔を見てほっとしているところです。2学期の終業式で、3年生へは「目標実現への努力」、1・2年生へは「目標の設定と決意」「最高学年になるための準備」について触れ、有意義な冬休みとなるよう話しましたがどうだったでしょうか。

「一年の計は元旦に有り」のことわざ通り、私は元旦の日に、自分自身への目標と、皆さんへの願いから次の言葉を心に留め行動していくと考えました。

「凡事徹底(ぼんじてっい)」です。読んで字のごとく“平凡な事を徹底する”つまり“当たり前を当たり前に行なう”ことです。

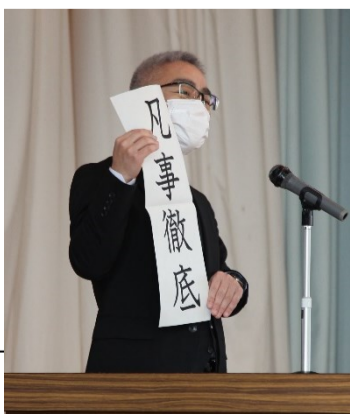
昨年、サッカーのワールドカップが行われ、サムライブルーの日本代表がドイツ、スペインという優勝候補を破り、日本中が熱狂したことは記憶に新しいところです。そんな中、日本のサポーターが世界から称賛されていたことは知っていたでしょうか。世界が驚いたことは、日本代表の試合後だけではなく、他国同士の試合後でも、会場のゴミ拾いを行い、きれいにしている日本人の姿です。外国のテレビ関係者が実際に清掃しているサポーターにインタビューしたエピソードをニュースで紹介していましたが、「なぜ、ゴミ拾いを行うか」の質問に、そのサポーターは「当たり前」と答えたようです。そのインタビュアーは英語で「当たり前」を「naturally(自然に)」と訳したようですが、外国には日本人が感じている「当たり前」の正確な言葉が無いそうです。日本人の道徳心や習慣力の高さ、直向きさを改めて誇らしく感じました。

本校では、「挨拶をする」「時間を守る」「ルール・マナーを守る」の三つを特に重要視しており、その中でも日本一の挨拶のできる学校を目指し、日々、実践しています。3年生が修学旅行の時、宿泊したホテルから「忘れ物が無い学校は、稲井中が初めてです」と褒められました。関係者への挨拶や時間も遅れる人は誰もいない立派な姿でした。毎日の成果そのものですし、そのようなことが、周りからの皆さんへの「信頼」と、皆さんの「自信」につながるものと考えています。自立した社会人となるためのしっかりとした土台をつくっていると皆さんの成長を感じた出来事でした。

毎日「当たり前」のことを徹底して継続していくことができる人は、必然的に何かを成し遂げます。こつこつ小さいことを積み重ねることが、とんでもなく自分を成長させてくれます。皆さんの生活では、学習を含め学校生活や学校行事にとどまらず、学校外での生活、友人との関係などなど挙げればきりがありませんが、毎日の学習の取組が将来の進路目標を達成できたり、部活動での走り込みや部員同士の声掛けがよいチームをつくったりしていきます。是非、この「凡事徹底」を心に留め、今日から始まる3学期を有意義なものにしてほしいと願っています。

また、まとめの時期である3学期は、1年の締めくくりです。これまでうまくいったこともあれば、いかなかったこともあったかと思いますが、うまくいかなかったことを帳消しにするチャンスでもあります。

「終わりよければ全てよし」です。皆さん一人一人の頑張りに期待し、3学期始業式にあたっての式辞とします。



最後の58日間

中学生として過ごすことができる日数、つまり卒業式までの日数は残り58日。そして、受験までは残り55日となりました。

そこで私は、残り少ない中学校生活をどう過ごすべきかを考えました。その結果、一人一人が「自己管理を徹底すること」が大切だということにたどり着きました。一日の過ごし方や生活リズム、勉強時間、勉強方法など自分に合っていないと意味がなくなってしまうものが多いと思います。自分のことを自分で理解していないと、気付かないうちにストレスがかかって気持ちに乱れが生じたり、睡眠不足でいつの間にか授業中に寝てしまったりと、悪循環に陥ってしまうと思います。このように自己管理を怠り、自分の心と体を壊さないように、また、進路目標の実現に向けて、良い結果につながるよう自己管理を徹底したいと思います。

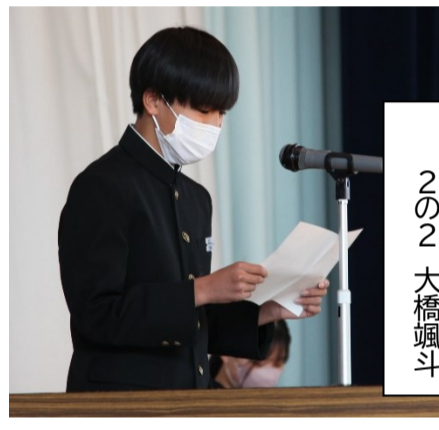
一方で、稲井中への登校日数は残りわずか39日となりました。学年の仲間とは9年間一緒に過ごしてきましたが、その当たり前になっている日々も、あと少しでお別れになります。これから受験が迫ってくると、焦りや不安が日々増していくと思いますが、少しでも「楽しめるものは、みんなで楽しむ」そして、「このメンバーで過ごした9年間で笑顔で締めくくる」という意識も忘れずに、残りの日々、一瞬一瞬を大切に心に刻みながら過ごしたいと思います。3年生の皆さんも、このようなことを意識してこの最後の学期を過ごし、卒業前の最終試験である受験や進路を65人全員で乗り越えましょう。



3学年代表 3の2 小野寺怜



1学年代表
1の1 杉浦暖真



2学年代表
2の2 大橋颯斗



生徒会執行部代表
1の1 山口芽那

おめでとう！

○令和4年度 石巻地区読書感想画コンクール

特選：深堀彩優(1の1)

準特選：鍋島唯(1の1)、小野寺日向(1の2)、渡邊紅愛(1の2)

入選：梶原海晴(1の1)

今回は1年生の活躍が目立ちましたね！



新型コロナウイルス感染拡大防止に向けてのお願い

おかげさまで稲井中学校には、冬休みの間に新型コロナウイルスに感染したという情報がそれほど多く寄せられたわけではありませんが、全国的には新型コロナウイルス感染の高止まりが続き、死者も増加しています。年末年始の帰省などで人の交流が活発となったことから、これからウイルスに感染する可能性もあります。インフルエンザの感染拡大もさらに広がりを見せており、W感染も心配されます。

感染を防ぐため、毎朝の健康観察と検温・健康観察カードへの記入など、継続した感染防止対策の徹底が必要です。今後ともご協力をお願いいたします。

お子さんやご家族に発熱などの症状が見られ、**検査をして陽性だった場合**は次のように学校に連絡をお願いいたします。

お子様や同居家族がPCR・抗原検査を受けて陽性と診断された場合

①検査を受けた経緯について、②いつから発症したか、③現在の症状、④検査をいつ(何月何日の何時)、どこの病院や施設で受けたか。

⑤いつ結果が分かったか、⑥自宅待機期間など、他に病院や保健所などから指示されたことについて学校にお伝えください。

☆陰性だった場合や、職場内での定期的な検査などについては連絡いただくことなく結構です。

☆ご家族・本人が陽性となった場合は学校に登校することができません。

本人が陽性となった場合は7日間、同居家族が陽性となった

場合は、原則として5日間の外出自粛となります。

☆陽性と診断されたらすぐに学校に連絡をお願いいたします。

連絡先

平日⇒稲井中学校(91-2314)

夜間・休日⇒緊急用携帯電話(070-1306-3262:教頭)